



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月5日

上場会社名 三櫻工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6584 URL http://www.sanoh.com/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 篠原 利幸
 問合せ先責任者 (役職名) 会計決算部長 (氏名) 長谷川 貴之 TEL 03-5793-8411
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	96,113	3.0	3,707	△9.1	3,405	△21.4	1,508	△27.1
27年3月期第3四半期	93,294	23.6	4,076	27.1	4,334	5.1	2,069	1.3

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 594百万円 (△82.6%) 27年3月期第3四半期 3,417百万円 (△28.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	41.42	—
27年3月期第3四半期	56.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	107,214	41,283	36.8	1,084.21
27年3月期	108,745	43,357	37.1	1,107.09

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 39,461百万円 27年3月期 40,293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	11.50	—	11.50	23.00
28年3月期	—	12.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	133,000	1.8	6,100	4.5	5,500	7.4	2,500	58.6	68.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	37,112,000株	27年3月期	37,112,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	716,287株	27年3月期	716,185株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	36,395,747株	27年3月期3Q	36,395,815株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び注意事項については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 偶発債務	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経済環境は、国内においては、企業収益の改善に伴い、雇用や所得環境の改善が続き、個人消費は持ち直しの兆しが見込まれ、緩やかな回復基調で推移しました。海外においては、米国では、景気が順調に推移し、欧州は、ロシアへの経済制裁の余波が懸念されるほかギリシャ経済への懸念が継続したものの、緩やかな回復基調となりました。一方で、中国では株式市場で株価の不安定な値動きが見られ、住宅投資の鈍化が長引くなど不透明な状態であるほか、アジアでは、タイやインドネシアにみられるよう景気回復に向けては足踏み状態となっております。

このような環境のなか、当第3四半期連結累計期間の業績は、北南米及び中国の業績回復等により、売上高は961億13百万円（前年同期比3.0%増）と増収、営業利益はドイツ子会社の海外展開に関連する費用を計上したこと等により37億7百万円（前年同期比9.1%減）と減益となりました。また、為替差損の計上等により、経常利益は34億5百万円（前年同期比21.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億8百万円（前年同期比27.1%減）となりました。

所在地別セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①日本

国内自動車販売台数の減少等により、売上高は263億71百万円（前年同期比7.5%減）となりました。営業利益は主に売上の減少等により、12億47百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

②北南米

自動車需要の回復等により、売上高は325億74百万円（前年同期比13.3%増）、営業利益は15億29百万円（前年同期比20.7%増）と増収、増益となりました。

③欧州

欧州事業の売上高は前年同期比0.9%減の178億47百万円とほぼ前年同期比並みとなりました。営業利益は、ガイガーオートモーティブ社の海外展開に関連する費用の計上等により、3億68百万円（前年同期比39.9%減）と減益となりました。

④中国

新工場の本格稼働による直噴フューエルインジェクションレール製品の日本向け出荷の拡大等により、売上高は75億21百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は2億90百万円（前年同期比1,272.7%増）となりました。

⑤アジア

タイにおける売上増加、韓国新工場の稼働等により、売上高は118億1百万円（前年同期比6.5%増）と増収となりましたが、インドネシアにおける売上の減少及びインドにおける固定費の増加等により、営業利益は6億99百万円（前年同期比27.3%減）と減益になりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は1,072億14百万円となり、前連結会計年度末に比べて15億31百万円減少しました。主な要因はたな卸資産の増加16億3百万円、現金及び預金の増加9億82百万円、売上債権の減少9億82百万円、有形固定資産の減少23億23百万円等であります。

負債合計は659億31百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億43百万円増加しました。主な要因は短期借入金の増加31億82百万円、退職給付に係る負債の増加7億55百万円、未払法人税等の減少13億19百万円、長期借入金の減少19億23百万円等であります。

純資産は412億83百万円となり、前連結会計年度末に比べて20億74百万円減少しました。主な要因は為替換算調整勘定の減少13億21百万円、非支配株主持分の減少12億41百万円等であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により73億62百万円増加、投資活動により52億77百万円減少、財務活動により7億41百万円減少等の結果、当第3四半期連結会計期間末には125億10百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が31億52百万円、減価償却費が44億87百万円、たな卸資産の増加による資金減が28億13百万円、法人税等の支払による資金減が25億51百万円あったこと等により、73億62百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、自動車部品事業を中心とした有形固定資産の取得による支出56億22百万円等により、52億77百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の純増加による収入18億78百万円、配当金の支払による支出8億55百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出16億42百万円等により、7億41百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月14日の「平成27年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第3四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が370百万円減少しております。

(4) 偶発債務

当社及び連結子会社が過去に製造した自動車用部品に関連し、得意先において当該部品を組み込んだ約9万台の自動車について市場回収処置(リコール)が行われております。これにより、当社及び連結子会社において補修費用が発生する可能性があります。現時点では、当四半期連結財務諸表に与える影響額を合理的に見積もることが困難であるため費用計上していません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,528	12,510
受取手形及び売掛金	19,705	18,723
商品及び製品	4,499	3,881
仕掛品	5,742	6,898
原材料及び貯蔵品	9,720	10,785
繰延税金資産	1,124	571
貸倒引当金	—	△37
その他	2,747	2,398
流動資産合計	55,065	55,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,742	16,472
機械装置及び運搬具	57,954	58,051
工具、器具及び備品	10,338	10,263
土地	4,217	4,048
リース資産	705	663
建設仮勘定	3,861	3,922
減価償却累計額	△56,661	△58,632
減損損失累計額	△47	—
有形固定資産合計	37,109	34,786
無形固定資産		
のれん	818	737
リース資産	50	35
その他	1,232	885
無形固定資産合計	2,100	1,656
投資その他の資産		
投資有価証券	9,367	9,648
長期貸付金	1	0
繰延税金資産	4,615	4,874
その他	488	520
投資その他の資産合計	14,471	15,043
固定資産合計	53,680	51,485
資産合計	108,745	107,214

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,448	13,494
短期借入金	11,165	14,347
未払金	1,968	2,259
リース債務	31	40
未払法人税等	1,704	385
未払消費税等	709	424
賞与引当金	956	906
役員賞与引当金	35	12
製品保証引当金	160	130
その他	3,216	4,023
流動負債合計	34,392	36,022
固定負債		
長期借入金	12,850	10,927
リース債務	430	444
繰延税金負債	57	123
役員退職慰労引当金	174	174
関係会社整理損失引当金	52	—
退職給付に係る負債	17,366	18,122
その他	67	119
固定負債合計	30,996	29,909
負債合計	65,388	65,931
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	2,998	2,628
利益剰余金	32,643	33,295
自己株式	△477	△477
株主資本合計	38,645	38,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,980	4,159
為替換算調整勘定	706	△614
退職給付に係る調整累計額	△3,038	△3,011
その他の包括利益累計額合計	1,648	534
非支配株主持分	3,064	1,822
純資産合計	43,357	41,283
負債純資産合計	108,745	107,214

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	93,294	96,113
売上原価	79,425	82,774
売上総利益	13,869	13,339
販売費及び一般管理費	9,793	9,632
営業利益	4,076	3,707
営業外収益		
受取利息	33	32
受取配当金	136	124
為替差益	515	—
その他	141	128
営業外収益合計	825	284
営業外費用		
支払利息	437	409
為替差損	—	130
その他	130	46
営業外費用合計	567	585
経常利益	4,334	3,405
特別利益		
固定資産売却益	9	7
負ののれん発生益	18	—
特別利益合計	27	7
特別損失		
固定資産売却損	3	2
固定資産除却損	54	53
関係会社整理損	—	42
訴訟関連損失	—	162
その他	—	0
特別損失合計	57	260
税金等調整前四半期純利益	4,304	3,152
法人税、住民税及び事業税	1,688	1,232
法人税等調整額	259	0
法人税等合計	1,946	1,232
四半期純利益	2,358	1,919
非支配株主に帰属する四半期純利益	289	412
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,069	1,508

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	2,358	1,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	692	179
為替換算調整勘定	240	△1,531
退職給付に係る調整額	128	27
その他の包括利益合計	1,060	△1,326
四半期包括利益	3,417	594
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,982	393
非支配株主に係る四半期包括利益	436	201

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,304	3,152
減価償却費	4,204	4,487
のれん償却額	74	66
有形固定資産除却損	54	53
受取利息及び受取配当金	△170	△156
支払利息	437	409
有形固定資産売却損益(△は益)	△6	△7
負ののれん発生益	△18	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,836	198
たな卸資産の増減額(△は増加)	△151	△2,813
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,376	△26
賞与引当金の増減額(△は減少)	△251	△31
訴訟関連損失	—	162
未払金の増減額(△は減少)	255	588
未払費用の増減額(△は減少)	281	488
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	868	782
その他	1,103	2,958
小計	7,771	10,310
利息及び配当金の受取額	170	148
利息の支払額	△432	△382
法人税等の支払額	△2,372	△2,551
訴訟関連損失の支払額	—	△162
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,137	7,362
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,681	△5,622
有形固定資産の売却による収入	6	190
投資有価証券の取得による支出	△238	△19
子会社出資金の取得による支出	△195	—
その他	207	174
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,901	△5,277
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,538	3,903
長期借入れによる収入	8,622	145
長期借入金の返済による支出	△1,641	△2,170
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△837	△855
非支配株主への配当金の支払額	△44	△121
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△1,642
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,562	△741
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	△358
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,785	987
現金及び現金同等物の期首残高	8,177	11,528
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△5
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,962	12,510

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	28,503	28,755	18,010	6,942	11,084	93,294	—	93,294
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11,959	239	—	1,543	216	13,957	△13,957	—
計	40,462	28,993	18,010	8,485	11,300	107,251	△13,957	93,294
セグメント利益 又は損失(△)	1,338	1,267	612	21	961	4,199	△123	4,076

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△13,957百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△123百万円には、のれんの償却額△74百万円、顧客関連資産の償却額△85百万円およびたな卸資産等の調整額45百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	26,371	32,574	17,847	7,521	11,801	96,113	—	96,113
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	12,708	204	13	1,826	184	14,935	△14,935	—
計	39,078	32,778	17,860	9,348	11,985	111,048	△14,935	96,113
セグメント利益 又は損失(△)	1,247	1,529	368	290	699	4,133	△426	3,707

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△14,935百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△426百万円には、のれんの償却額△66百万円、顧客関連資産の償却額△82百万円およびたな卸資産等の調整額△269百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。